

GENDA の機械学習環境を AWS から Databricks に移行してみた

Databricks on AWS はいいぞ

uma-chan

2025-11-07

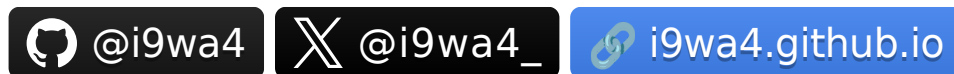
1. はじめに

1.1. 自己紹介

uma-chan (馬渡 大樹 / Mawatari Daiki)

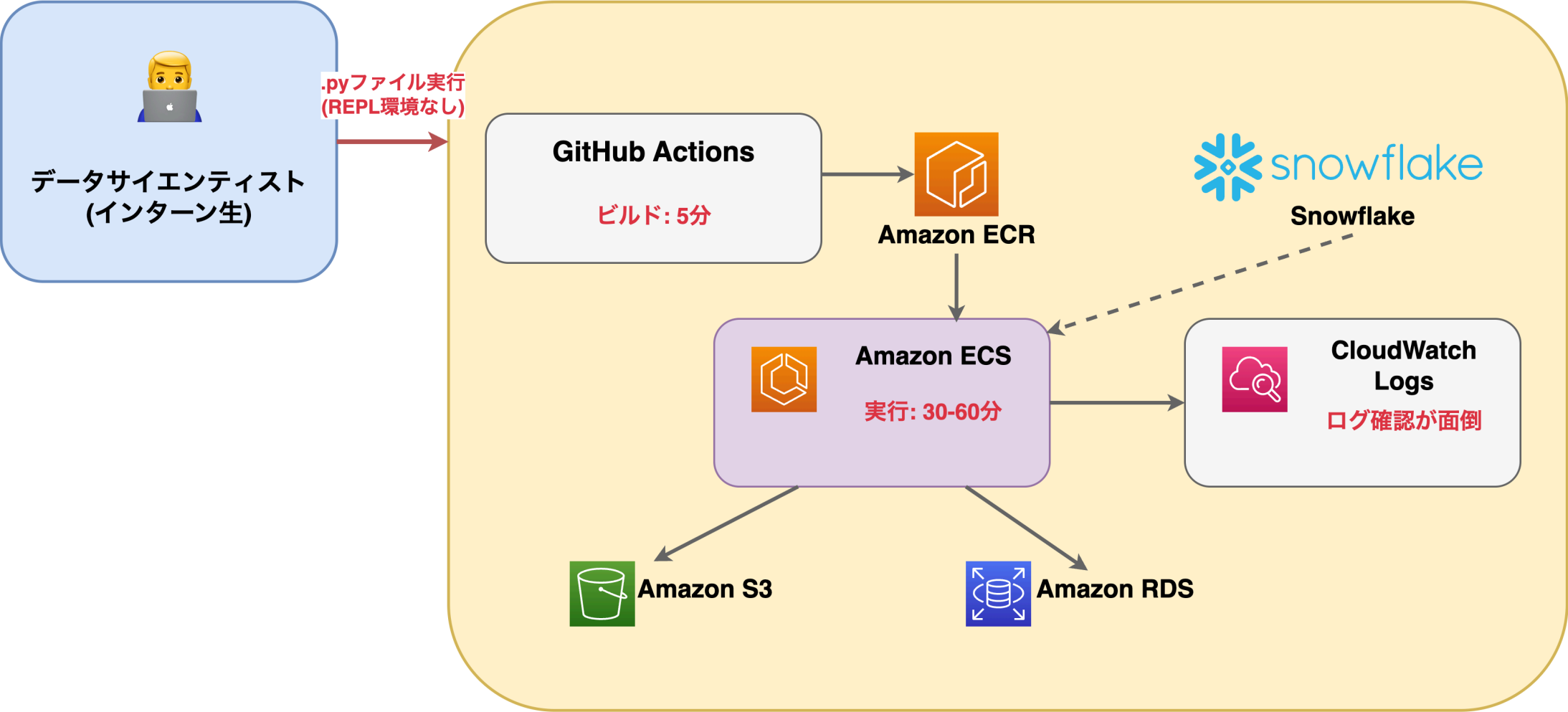
Data Engineer/MLOps Engineer 株式会社GENDA

好きなものたち



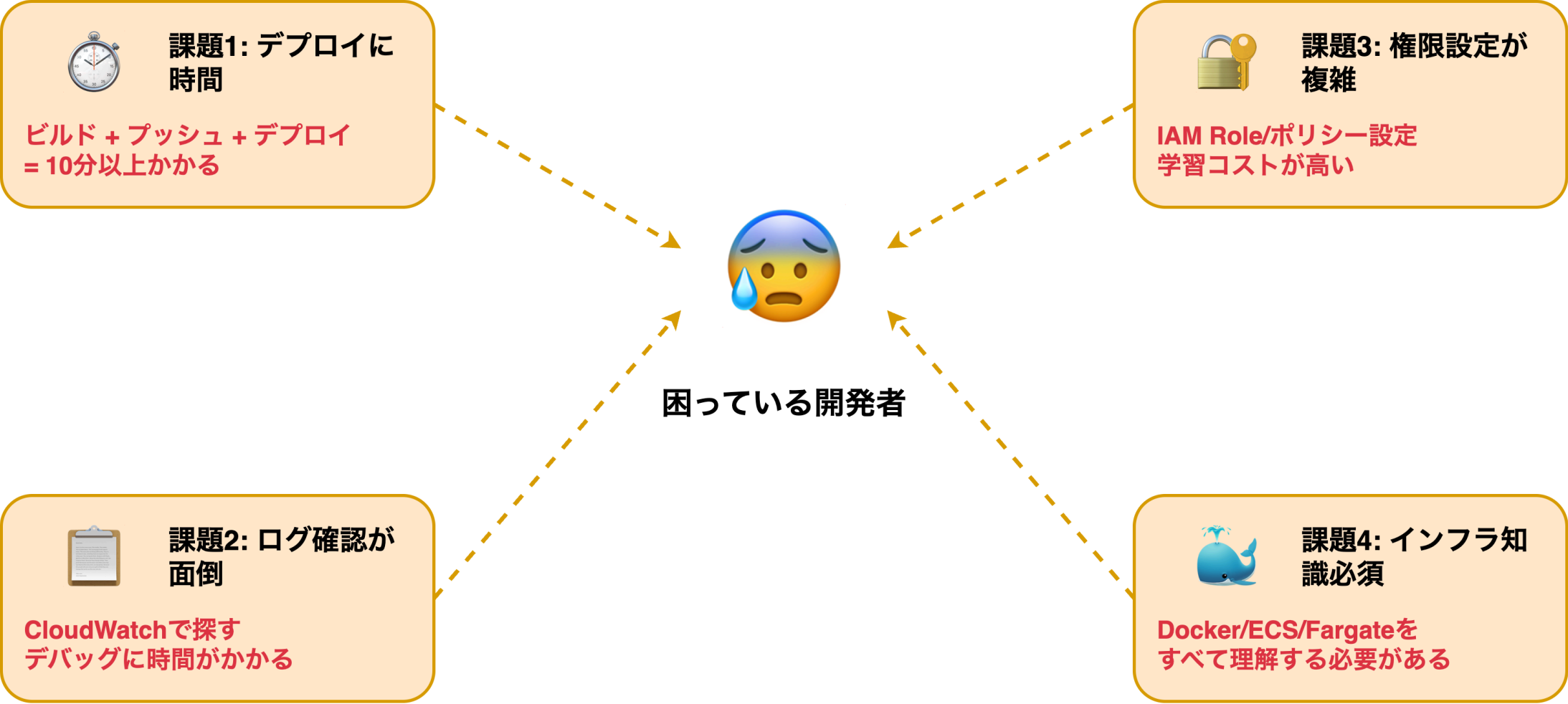
2. 入社時のAWS機械学習環境

2.1. 入社時のAWS機械学習環境: ECS中心の構成



Aws ML Architecture image

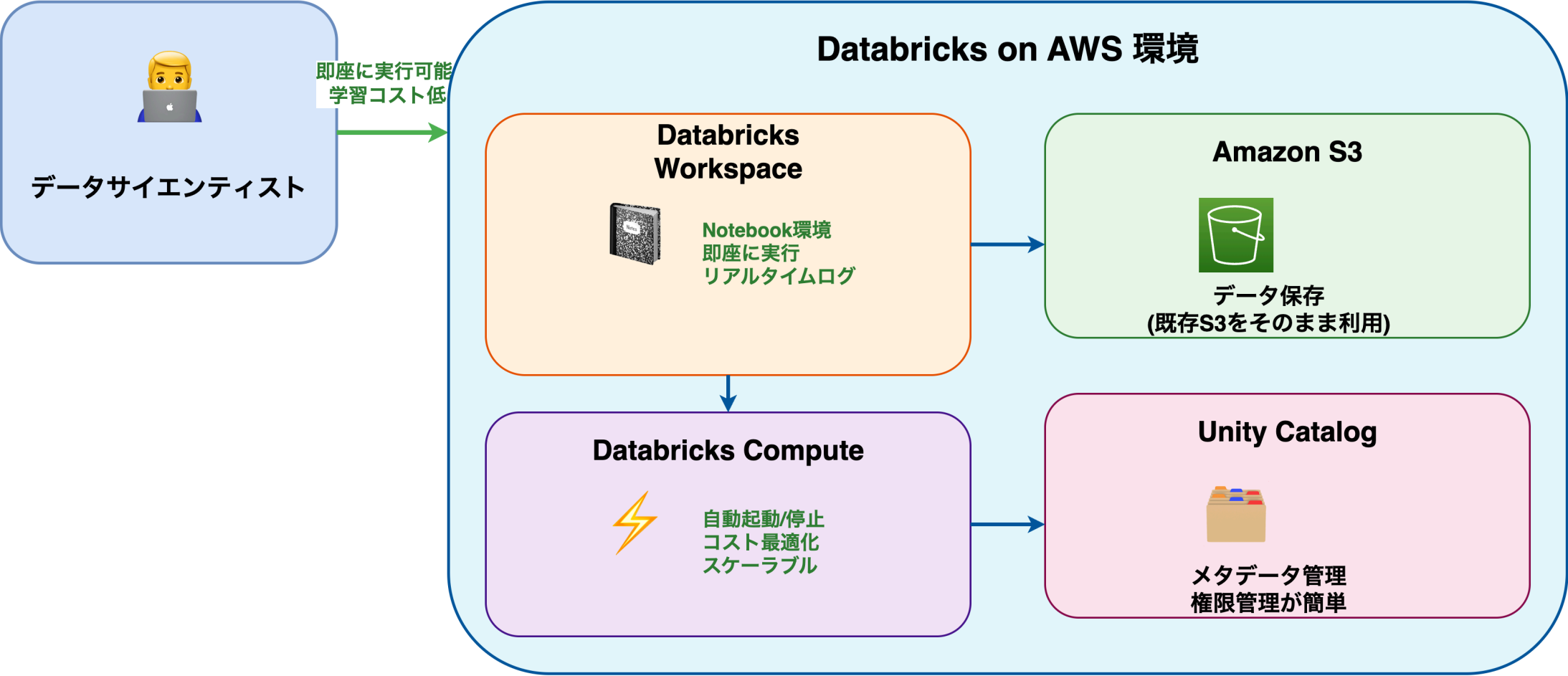
2.2. 開発で感じた課題



Aws ML Challenges image

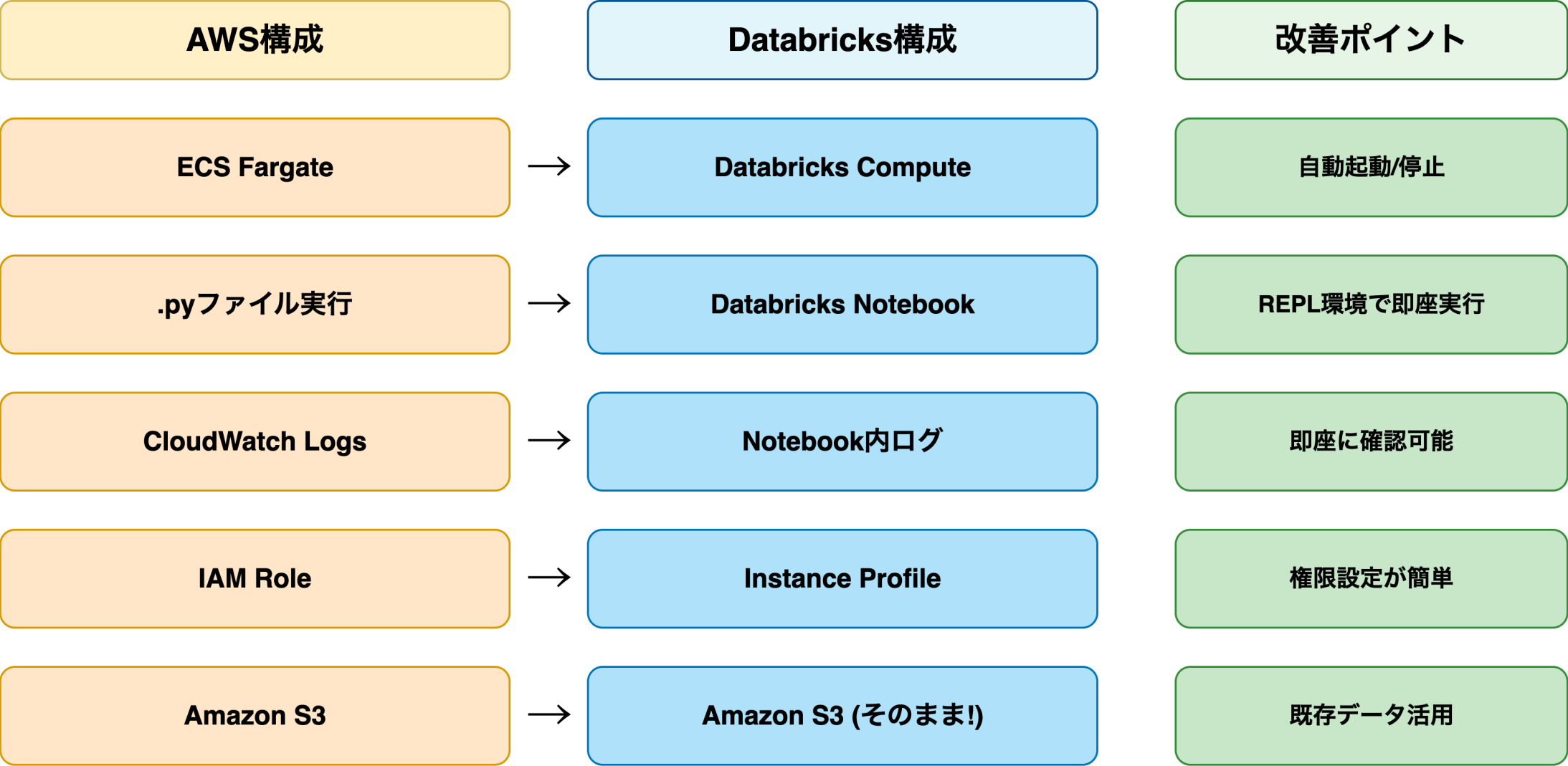
3. Databricksへの移行

3.1. 移行後: Databricks 環境の構成



Databricks Architecture image

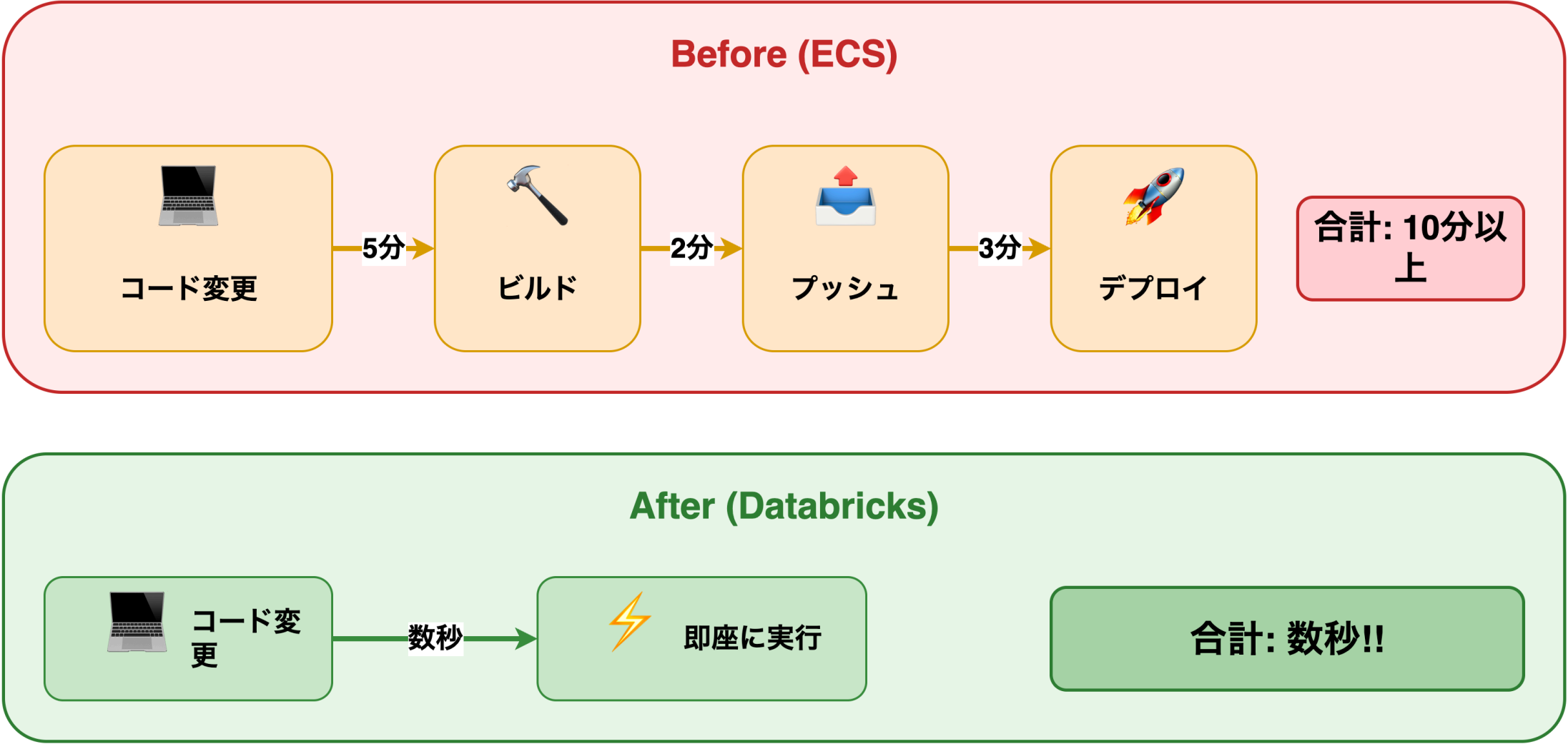
3.2. AWSサービスとの対応



Aws Databricks Mapping image

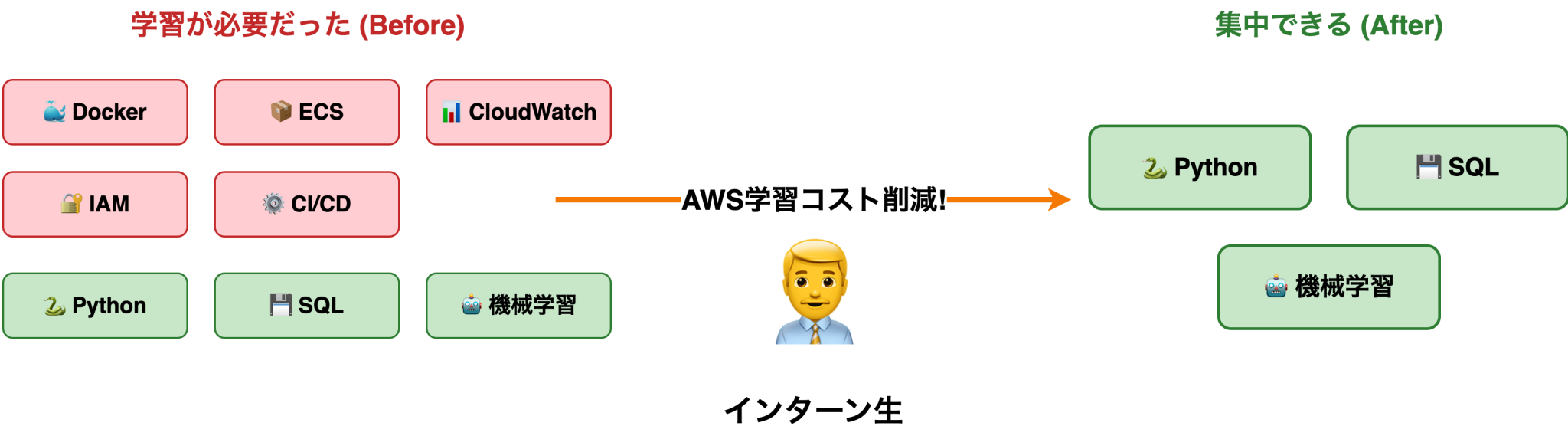
4. 導入効果

4.1. 開発サイクルの変化



Development Cycle Comparison image

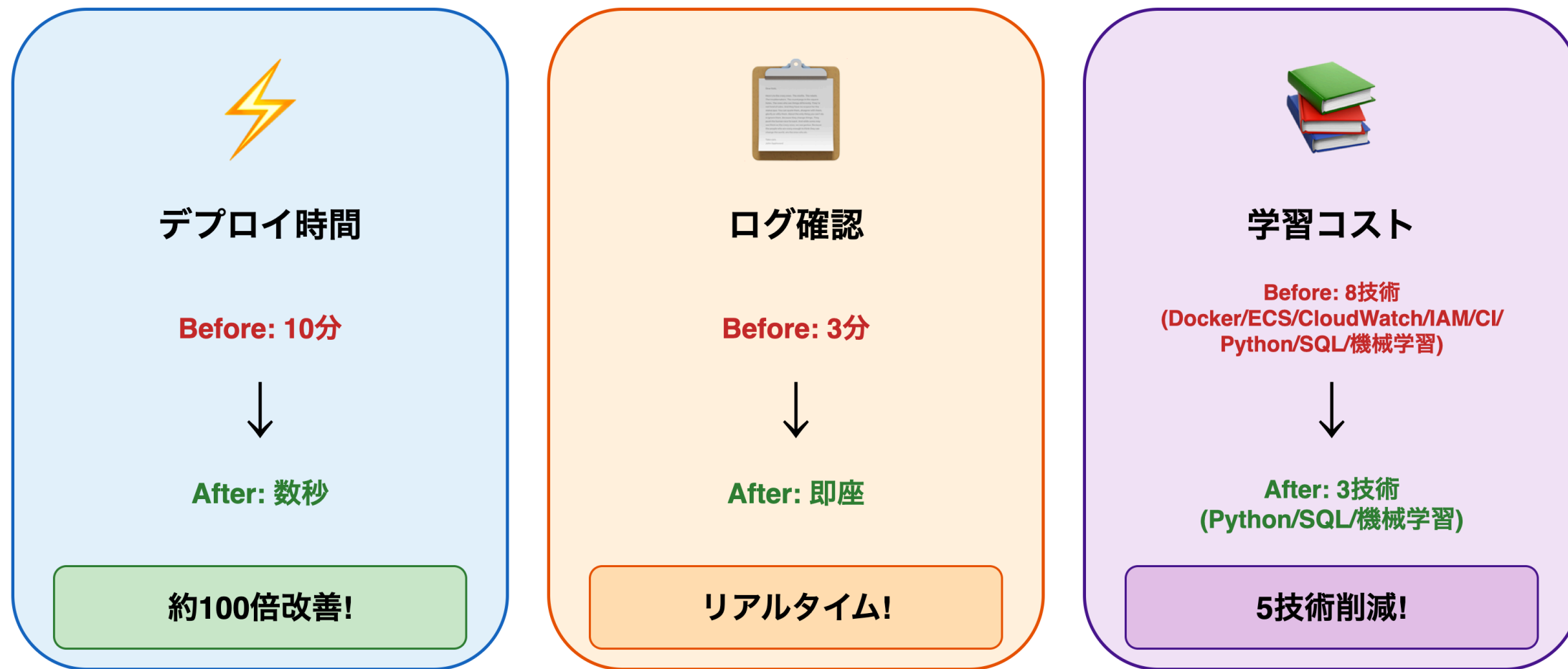
4.2. インターン生でもすぐ活躍



✨ 本質的な業務に集中できる!

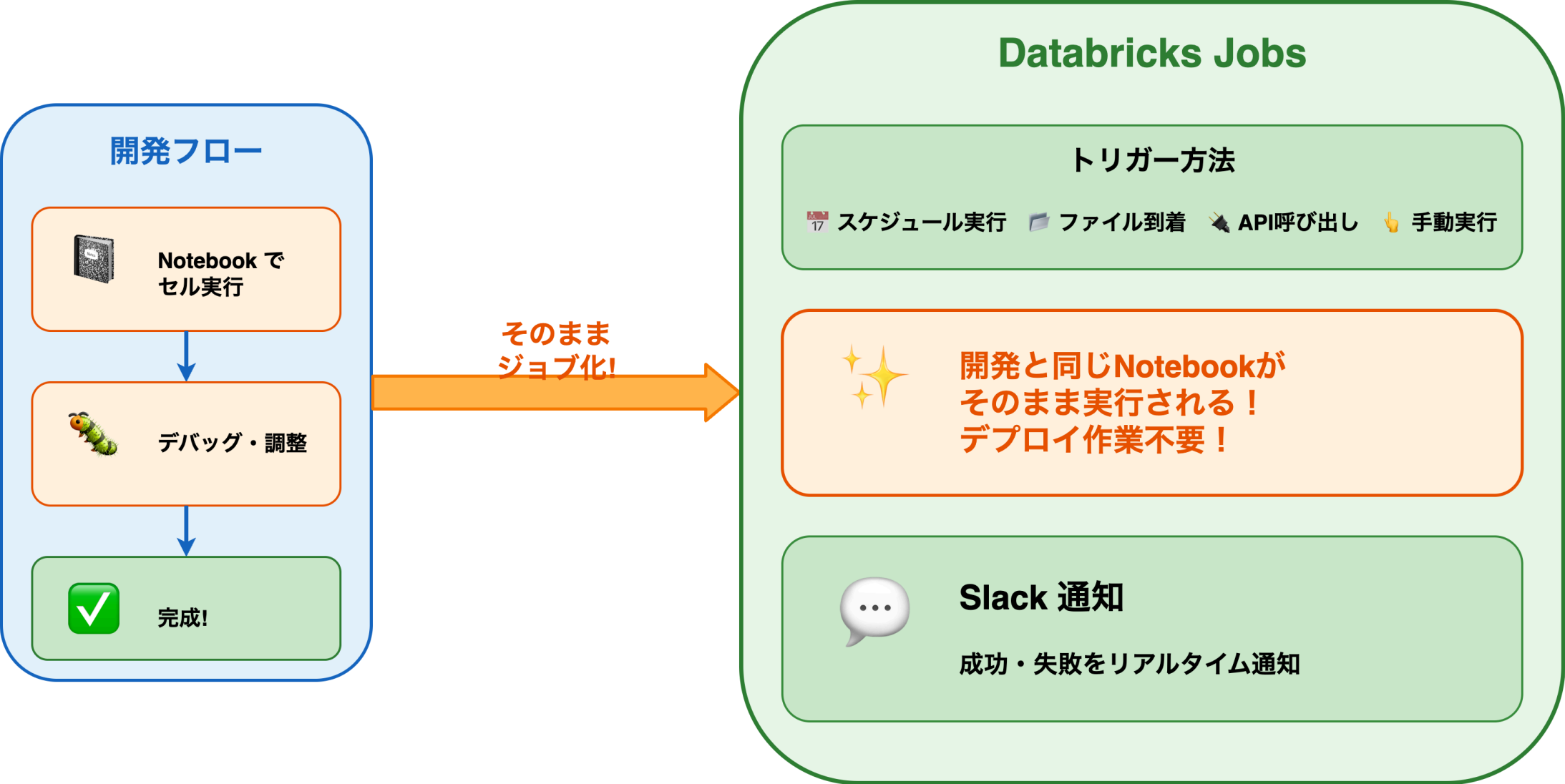
Intern Productivity image

4.3. 定量的な改善効果



Quantitative Improvement image

4.4. ほぼゼロコストで本番運用



Job Migration image

5. まとめ

5.1. Databricks on AWS では AWS の知見がそのまま活きる

- S3 / EC2 / IAM Role など、既存の AWS 知識が活用できる
- AWS 構成からの移行がスムーズ
- インフラは AWS のまま、開発体験が劇的に向上
 - AWS 分かる人が1人でもいれば大体何とかなる

5.2. 併せてこちらもご確認ください

GENDAのデータサイエンティスト開発体験向上の取り組み紹介—AWS ECSからDatabricksへの移行



GENDA
GENDA 公式アカウント



GENDAのデータサイエンティスト開発体験向上の取り組み紹介

AWS ECSからDatabricksへの移行

https://zenn.dev/genda_jp/articles/724a597e8f18ff

Zenn Twitter Card image